

説明文の読解

P. 45

8/1

標準

解答

(1) ウ 例 他者も自分と同じように考えたり感じたりする存在であるということ
を理解すること。

(2) 他者の心の理解

(3) 表情 言葉 視線 (順不同)

(4) ア

(5) 工 自分の欲求があること 他者の思っていること (順不同)

(6) 例 心の理論が発達することにより、いろいろな社会的状況を理解できるよ
うになるから。

(7) 「心の理論」が

(8) 例 私は自信を持って、自分の意見を述べた。

(9) 表現 あなたの言葉で答えよう

○解説○

(1) 「道徳」とは、社会の中で人が守るべき行動のきまりであることを押さえる。
(2) 同じ文の冒頭「このこと」の指す内容が「非常に重要なこと」であることをと
らえ、前の文の内容をまとめる。

(3) 何が「心の理論」という脳の働きにかかわっているのかを前からとらえる。
「他人の」「他者の」という言葉に着目し、二字熟語であることをヒントに探す。

(4) 「はさみを持つているかどうか」は、事実である。
(5) 同じ段落の内容をよく読んで、内容が合っているものを選ぶ。

(6) 直前の「など」に着目し、その前に例が述べられていることをとらえる。
(7) この部分が四、五歳の子どもについて述べていることを押さえ、さらに同じ文
の冒頭の「だからこそ」から、理由が直前に述べられていることを読み取る。

(8) 前半は、「心の理論」とはどのようなことを説明し、後半は、「心の理論」が
子どものときにどのように発達していくかを述べていることを読み取る。

△表現 あなたの言葉で答えよう

「自信・地震・時計・磁針」などの同音異義語があり、どれでもよい。

古文の読解

P. 21

基本

解答

2

(1) かたわら

(2) ア

(3) 人の家にくためなり

(4) 人の家に

(5) 工

○解説○

2

(1) 藤次郎がもらってきた子犬が、親犬の居所に毎夜通ってそばに寝たり、も
らった魚を口に含んで持って行き親犬に与えたりする様子に感動している。

(2) 「しかるに」は、逆接の接続語である。
人がなんのために犬を飼うのかを述べている部分をとらえる。

(3) 犬に対して「汝(おまえ)」と呼んでいることを押さえる。
(4) 飼い主の家の夜を守るといふ犬の務めを果たさないのは不忠だ、と冗談で
犬を叱ったところ、一夜おきに主人の家と親犬の居所の両方に伏すように
なったという話を読み取る。